

# 2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：日本体育大学

【2022/6/4】

## この試合のプレー集計

### 2部準決勝2

順天堂大学 10

3	—	1
3	—	3
1	—	2
3	—	0

6 東京大学

審判:

PSO  
菊池 龍志  
佐藤 國寛

順天堂大学	29	SH数	24	東京大学
	8	速攻数	4	
	18	ST・SB	16	
	5	SH・P誘発アシスト	3	
	45%	GK阻止率	41%	
	6	EX反則数	6	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

### 【試合の流れ】

参入2年目で2部リーグを全勝で勝ち上がってきた順大と古豪・東大との入替戦出場権をかけた一戦。東大側は順大のポイントゲッター⑨榎淵を徹底マークすることが予想され、少ないチャンスを④笠間のシュート力で粘った展開に持ち込みたいところ。

#### 1P

東大DFが完全に下がってくる展開でも、順大は⑨榎淵の6mシュートなどを軸に優位にゲームを進めて3連続得点。対する東大は、ピリオド後半に⑨川崎がセンターで見事なシュートを決め、順大3-1東大という滑り出し。順大は優位に立っているものの、完全下がりの東大DFにやや手を焼いている状況のスタートとなった。

#### 2P

東大は順大⑨榎淵への対応に慣れてきたことから、徐々に攻撃のリズムもアップ。④笠間が自身のシュートリバウンドを叩き込んで順大3-2東大と追い上げムードに。特に順大⑨榎淵へのマークが効き、ほとんどシュートを打たさない展開でゲームは互角に。東大がゲーム運びで優位に立っていたが、順大5-4東大と1点差に詰めた後の攻撃チャンスにGK①原田がパスミス。そこを順大④栗山にセンターから決められてしまって順大6-4東大と2点差で前半を終えた。この最後の順大1点が勝負を分ける形になっただけに、東大としては残念なプレー。順大⑨榎淵がこのパスミスを奪ってからの攻撃となったが、シュートで不調の⑨榎淵はこうしたプレーでチームを救った形。

#### 3P

東大DFは十分機能し続けていて、順大⑨榎淵にゴールを割らせない。逆に、やや焦りの出た順大のミスを誘って退水を誘発し、タイムアウトなどを有効活用しながら加点して追撃態勢を固めた。順大7-6東大と1点差で最終ピリオドへ。個人能力で勝っている順大ではあったが、じっくり守る東大からほとんど速攻を出せず、ペースをつかめない状態が続いた。順大ボールは中心ラインに寄ってしまい、特に右サイドを深い位置まで攻め上がる形がなかなか出せず、スペースを有効に活用できない状態が続いて苦戦。最終ピリオドに改善できるかどうか。

#### 4P

粘ってきた東大だったが、さすがに疲労の色は濃く、それまでほどに攻め上がることも厳しくなった。そこを順大側に接点負けしはじめ、退水が多くなり一気に劣勢に。最後は順大が3連続得点して東大を突き放し、順大10-6東大でリーグ戦参入2年目で1部との入替戦出場権を手にした。